京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

明治四十五年紀元二千五百七十二年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金三十錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵税一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休日(日刊)
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久太郎
印刷人 德久神一郎
發行所 京城西小門通 京城新報社 電話大三番 振替口座京城四五一六番
仁川支局 仁川宮町三丁目 電話二一一番
東京支局 東京市京橋區南佐柄木町七番地

雜錄

●宿命轉換の成否、(中)

紫天子談

◎されば其の性相に顯はれて居る宿命なるもの、大要に就てお話すると壽命の長短は車の後ろに生命性と其の前の柔骨と云ふ機關に在り貧富の程度は頭部では顳顬葉の自衛性、面部では中停下停の鼻や地閣と云ふ個所又顯はれ智識の程度は前頭葉の智力、觀察等の各機關即ち額部の天庭以下印堂と其の附近の全面に表彰さるゝやうに官祿も職業も兄弟姉妹の多少も職業も總て吾人の宿命なるものは殘らず頭部、面部、體軀の至る處に刻まれて在るから自己の宿命を知覺せず反對の方面へのみ何程勉勵したり熱心つて見ても決して成功するものではない假令へば富に縁のない人が無暗に貨殖の方面へ活動しても元來其の方の智力機能に缺點があり運がないのであるから結局は働き損になるばかりでなく動もすると寧ろ其れが爲め身家を亡ぼすやうな破目になり又文學、美術、技藝などの機能に缺點のある者が或る何かの動機で其の方で成功して見たいと思つて盛んに勉強を始めても到底物にならぬのみならず遂には心身に異狀を來すやうな結果にもなる孰れも宿命に反抗する無謀の結果である斯樣に我々の運命は既に既に先天に定まつてゐる佛數では之れ定業と云ふ

◎併しながら此の宿命……定業なるものは性相學の原則を應用して或る程度までは轉換させることが出來る即ち心形一致の原則に由るのである元來我々の形体容貌は意志狀態を其儘表彰するもので意志の通りに形體が構造され形体の通りに意志がなつてゐる故に常に悲觀的の人でも勉めて樂觀々々と心掛けて居れば其れが習慣性となつて遂には樂觀家となり自然血色も美しくなり幸運にも接するやうになる又自己の宿命を知覺して活動すべき方面へのみ活動するやうになれば失敗が少く成功が多いと云ふことにもなる此の理法を擴充して總て自己の動作、意識を改善して行けば漸次インスチンクチーヴ、マインド(天性)よりインテレクチユアル、マインド(理性)に進み更にスピリチユアル、マインド(靈性)にも到達して立派な人間となることが出來る

文苑

●丹葉さんと小蟹さんへ　本町　浪迺家

素見さず　買つてれかんせ　丹葉さん
小蟹さんの　備後縞　見切物だに　安かろふ

◉

素見も　客のうちだに　小蟹さん
怒るなんすな　其の中に　よいた買手も　御座んしよふ

●彩雲居句屑　仁川　丹葉投

◉春淺し
舟組む声の舟艀か春淺き江に
春淺し伸びぬ丸寐の脚腰や
池畔寂と何焚く草家春淺み
春淺み蛭下径殊更に
春淺く鍬入れ捨し凍畑や

◉椿
落椿飼ひ鶯の餌壺にも
赤椿數の春完全に
つら／＼椿仁和寺畔に春迫る
炉邊去らず白椿なぜひねくりて

◉雲雀
雲雀野に朝數雲雀と新建も
初雲雀麥二三寸漸う／＼に
風に乗る拍子も雲雀冲天に
落陽遲々と揚雲雀見入る眼の眩み

◉飛行船
春風を滑走す果雲雀野や

◉春寒
カンテラの灯の油煙煤ちも春寒き
一人寐の沈思默考春寒し
春寒し火桶の粉炭せゝる氣に
寒むや春よべの活字の解版に

外事一束

▲佛國• の造艦計畫公表さる其の計畫期間は七年にして費用五千六百萬磅也

▲米國• 陸軍省巴奈馬運河大平洋側の入口フレメンコ島に砲臺建造に着手す

▲西帝• 洪水の厄に遭ひたるアンダルシア州各地を旅行し一々慰問を行ふと

▲英國• 侍從長聖ポール寺院へ陛下御訪問の際設備不備の故を以て辭職せり

▲巴里• 人心は英陸相の獨逸訪問を不安に感じたり蓋し該訪問に依り若しも

▲英獨• 間に製艦計畫制限協約成立せば獨が陸軍に全力を傾注する故なりと

▲訪獨• 中の英陸相は獨外務省政務局長と午餐を共にし熟議する處ありしと

新刊紹介

▲新公論(二月號) 最近の内外形勢(社説)原内相論(暮村隠士)男女同權は男子をモルモン宗に導く(建部文學博士)何で豪富道を建設せむる(白龍洞主人)支那共和政體論(白河鯉洋)ねでんや生活の二日(變裝記者)足尾銅山鑛夫となるの記(映南生)等は本誌の重要なる讀物にして此外萬報一覧は本誌の外見ることを得ざるもの例によつて内外の新思潮一日餘録を收め世界の大勢を一目瞭然たらしむ(一冊郵税共二十一錢五厘東京市本郷區東片町新公論社)

▲日本青年(第四卷第二號) 大日本青年中學會の機關雜誌にして中學程度の青年に讀ましむるを目的として記事は趣味と實益を兼備せるものを以て充むる(東京市本郷區森川町大日本青年中學會)

▲家庭之友(二月號) 面白くてためになるよい婦人雜誌をほしいと思ふ人があるならば家庭の友をお讀みなさいとお薦めする第一價がやすくて讀む記事の多いのが本誌の特色である(定價一部郵税共十一錢東京市本郷區東片町新公論社)

▲尺八界(二月號) 尺八に關する專門雜誌にして又斯界唯一の者なり掲載の重要記事は尺簡雜説、初心者の心得、一長一短、尺八獨げいこ、尺八手ほどき、尺八顧問等尺八を愛翫する士の必らず一讀を要す(一冊十錢東京市京橋區木挽町東京尺八講習出版所)

梁川庄八

小金井蘆洲演

第百三回

庄『ハアー、彼れは皆護摩か』勘『ヘエ、土地自慢から話に花を咲かして貴所の噂をさせ、褒めちぎる奴と惡く云ふ奴と馴合喧嘩をさして、其から私が飛出して淚を滾して貴所の御身の上の話をしたのでございます』庄『成程さうであつたか、イヤどうも貴樣なか／＼偉い奴だ』勘『決して私は慾得づくでやつたのではございません、それはどうせ護摩の繩でございますから、人の物を奪るのが商賣とは言ひながら、旦那樣のやうな偉いお方の物を奪るのは其物が欲しいと云ふよりも、腕が宜いと云ふ所で自分の身に實際が付くので、惡いと知りつゝ、御欺し申した譯で、彼の品物は一品たりとも手を付けは致しません、明日スッカリ宿に持參を致しますから、何卒御勘辨を願ひます、唯旦那に油斷をさして私が取たと云ふ事が仲間の奴に知れさへすれば宜いのでございます、何卒マア惡からず思召して下さいまし』庄『馬鹿を言へ、そんな事をされて誰が宜く思ふ奴があるか、併し貴樣は其だけに巧みに人を誤魔るなる奇才があれば、其の智慧を善道に用ひたら一角の者になるだろう、正しい道に其だけの智慧を絞つて見ろ、物の頭になつて世渡りが出來る、惡る事は言はんから改心を致せ、どうだ』勘『ヘエ』庄『過ちを改むるに憚る勿れ汝が改心するなれば當代官三浦殿には拙者御願ひ申して、其方の繩を解いて遣はす、此處に繋がれて居る多くの者も殘らず許してやるがどうだ』繩に繋つて下俯向いて居りました、白子の勘六と云ふ惡漢が双眼からホロリ淚を滾して　勘『ヘエどうも貴所には恐入ました旦那樣でございます、今まで假令どんな人に意見をされても有難いと思つた事もなければ改心しやうと思つた事のない私でございますが、今日と云ふ今日は心から腹から身に泌み渡つて對へました、有難う存じます、以來乾度眞人間になりますから何卒御勘辨を願ひます』庄『乾度眞人間になれよ、これ並居る所の一同にも貴樣達が此勘六を親分を賴んで居るさうだが、親分の勘六が正に改心をすると云ふが、貴樣達も今日限り改めて眞人間になるかどうだ』○一『恐れ入りましてございます、皆眞人間になります』庄『口先ばかり眞人間になつたと言つて行ひを改めざれば、今後會ふた時に最早口は利かんぞ、物をも言はずに直ちに斬つて捨るから「左樣心得ろ」』○『ウヘエー』甘『三右衛門殿誠に何うも勝手の願ひで相濟まんが、此一同の者は何うぞ手前にお任せ下さるまいか必ず過ちを改めて眞の人間になると申す事で御座るから、此度の處は何卒許して頂きたいが』と强ての賴みの言葉に三浦三右衛門、余の人でない梁川庄八の云事で御座いますから　三『以來決して惡事を致さぬと申事なれば、御言葉に從ひ任せ申でござる』と承知を致しました、其處で梁川庄八は差添の小柄を拔いて、白子の勘六の眞額へ一文字を引いて、是に墨を入れて　庄『以來決して惡事をするなよ』と繩を解いて一同を逃がしてやりました、日本の入墨の刑を行ひました梁川は元祖でございます、茲で一寸此入墨の事を申上げますが、元來徳川幕府時代には入墨といふのが、刑法の一つになつて居りまして、盜みとか缺落ちとか致しました者に行ひました者です、是は刑罪の屬刑さか申しませうか、此外、晒、缺所、非人、下手、過料、閉戸、手鎖、など稱々ある入墨は、元支那の刑律から取つた者らしく、抑も日本で入墨を應用したのは梁川庄八が元祖です、其後享保五年の二月十七日、江戸町奉行中山出雲守が江戸橋の鐵物を盜み取つた罪人に行つたのが公に行ふ濫觴で御座います、牢屋同心が一名此係となり、處刑になる奴があると、牢屋下男が腰繩を取らせ本人を牢庭に曳出して額又は兩腕に入墨をした者ですが、其墨の引方にも澤山の種類があつて土地に依て皆違ひます、江戸では郡代、人足寄場、京都大阪伏見奈良駿府堺長崎佐渡日光場所が變れば型も變る、其中に增入墨と云のは再犯者に行ひました者で、罪が殖れば一筋づゝ其上に附加へる、是は安永七年松平右京太夫が發意に係り、杉野大隅守の手にて小金毛宿の權三郎に始めて施した者だと云事です、何がさて此入墨は調べる役人の方に取つては、誠に都合の好い目標ではあるが、賊の方では始末にいけない厄介物『イヤ私は泥棒でございます』と吹聽をして居る樣な者で、寒中だからと云て滅多に肌などは脱げない、そこで猾い奴は之を消す方法を考へて、牢を出ると直ぐに痕跡を無くして了ふので、郡代の穢多彈右衛門などは消されぬやうにと、深く彫つた所から、賊仲間から甚く憎まれたと云ふ噺もございます



東京電報

▲漢冶鐵鑛借款成立　漢冶萍公司を擔保とする盛宣懷氏と三井物産會社との借款は愈成立し調印を了したり條件の内容擔保形式は發表せざるも其總額は二百五十萬圓なりといふ

▲大阪貯蓄不解散　過般來紛糾を極めつゝありし大阪貯蓄銀行は解散せざる事に決し浪花銀行の永田氏入つて頭取たるべしと

▲亂暴代議士の懲罰委員會　衆議院に於ける懲罰委員會は十四日亂暴し遠藤代議士の出席を求め取調をなす所ありしが更に十七日を以て委員會を開く筈なり

▲東拓副總裁の辨明　吉原東拓副總裁は新聞紙を利用し補助金問題に對し躍起となりて辨明を試みつゝあり

▲清國事件費可決　政府提出の清國事件費は衆議院に於て全部原案を可決せり

▲豫算案と上院　衆議院を通過したる總豫算案は十五日貴族院の議事に附せられ山本藏相は財政に關する演説をなす

▲支那首都位置爭ひ　袁世凱は支那新政府の位置を天津に定めんことを主張し孫逸仙は之を南京に置かんとし双方堅く執て讓らず目下頻りに交渉中なり

▲東京市長交迭説　尾崎行雄氏は今期議會の閉會後東京市長を辭し再び元の政黨生活に入り其後任として阪谷男爵を推選すべしと

▲停戰命令を發す　袁世凱孫逸仙の名を以て官革兩軍に停戰命令を發したり

北京特電

▲義務繼承通牒　袁世凱は新清國政府時代の義務及當時交渉中の案件を全部引繼ぐべく在北京各國公使に通牒を發せり

▲政變と列國態度　袁世凱の新政府組織に關する通牒に對し列國は未だ公式の承認を與へざるも臨時政府の組織成立する迄に好意的承認を爲すべしと

上海特電

▲革軍袁を疑ふ　革命軍は退位の上諭が南京假政府を認めず且つ政權が袁世凱一己に歸したるに對し不滿の意を表し開戰を主張する者多く一般に袁世凱の心事を疑ひつゝあり

雜報

●漁税令發布　豫て審議中なりし朝鮮漁業令實施に伴ふ漁業税令は十六日制令第一號を以て發布さるべく其の全文十四ヶ條より成るものにして漁業令と同時に施行さるべし

●漁業令實施期　曩に發布したる漁業令の實施期に就ては或は三日或は四日と稱々當局者に於ても議論の存する處にして今尚ほ未定に屬すれど漁業税令の發布に次て漁業税令施行規則の發布と同時に實施さる筈なれば多分三月中旬若しくは四月始めより實施さるべしと云ふ

●清國共和政體宣布　十二日宣布せられたる共和立憲上諭は第一第二第三と區別せられしも其中最も重要なる第一上諭の全文左の如し

朕隆裕皇太后の懿旨を奉し曩に民軍事を起し各省呼應し國内沸騰塗炭に苦しむ特に袁世凱に命じ重員を派して民軍代表者と大局を討論し國會を開き政體を公設せん事を議せしむ兩月以來尚確たる便法無し南北揣角几に相持し商家業を罷め兵士野に露營す徒らに國體一日決せざれば生民一日安からず今全國人民の心意の多くは共和に傾く南部中部の各省は既に義を先に唱へ南北諸省亦後に主張す人心の嚮ふ所天命知るべし朕復何を忍んで一身の利害より億兆人民の希望に逆はんや茲に外に大勢を見内に輿論を審にし特に皇帝の統治權を公衆に與へ全國を定め共和立憲政體と爲し近く海内に亂を治め遠く古政に愜ふは天下の公議と爲す袁世凱は先に資政院の選擧を經て總理大臣と爲れり又新舊代謝の際宜しく南北の統一を計るべし即ち袁世凱全權を以て臨時共和政府を組織し民軍と統一便法を協商し總ての人民を安堵せしめ海内の泰平を期せよ即ち滿、漢、蒙、回、藏の五族を合し領土を保全し一大中華民國と爲せよ朕既に隱退して閑々悠々日月長く國民の優禮を受け親しく良政の恢興を見る豈に喜ばしからずや

●法官陶汰人員　裁判所官制改正に伴ふ司法官の淘汰に關しては曩に開催の院長檢事長會議に於て決定したるがその人員は地方及區裁判所を通じて五十二名にして内内地人二十六名朝鮮人二十六名なりと云ふ

●在留支那人と新政府　清帝退位に就き在東京清國公使館より京城駐在清國領事に公電ありたることは既報の如し依つて領事馬廷亮氏は十四日附を以て在朝鮮各駐在領事及び當地在留清國人に對し左の公文を送致及配布したりといふ

十四日日本東京清國公使館より電報に接す趣意は臨時共和政府を組織する首領袁世凱の命令に依り我國名を大中華民國と改め而して在外公使は臨時外交代表と改稱し繼續して事務を辨せしむ國旗は暫く紅、黄、青、白、黒の五色を用ゐ彩樣は横紋にして長方形となす官服は暫く美(米國)制に則り年號は暫く辛亥を用ふ此旨通牒す

而して在朝鮮各領事よりは夫々管内の在留清人に通知したる由なるが早や京城在留の清人は新制の國旗を作り十七日の除夜より掲揚すべしといふ

●雲山金鑛産出　平安北道雲山金鑛會社一月中に於ける産出高は七百八十四斤にして價格二十萬五七千圓なりと云ふ

●來年度の官營工事　明四十五年度に於ける官營工事の主なるものは郡廳舍新營三ヶ所京城中學の增築平壤高等普通學校增築京城監獄裁判所廳舍監獄廳舍中央試驗所原質紙製造所等にて此工費總計約五十八萬圓なりと云ふ

●水産組合規則制定　農商工部豫算に係る水産組合規則は既に確定し居れば近日寺内總督の決議を經て發布さるべく其の全文約三十ヶ條なりと云ふ

●半島の水利事業　朝鮮に於ける水利事業の現況に就き其筋の調査を聞くに水利組合として現に存立し居れるは

▲臨益水利組合　本組合は二十萬圓の資本金を以て既に灌漑工事を終り目下は九萬圓の起債を以て排水工事の認可申請中なり

▲臨益南部組合　二十萬餘圓の起債を以て工事を起さんとし既に其筋の認可を得たり

▲臨沃水利組合　資本金約六萬圓にて目下設計中

▲金益水利組合　資本二萬圓にて既に工事をなし居れり

▲連山水利組合　資本三萬五千圓就業中

▲東洋江水利組合　工事の設計中にて資本金未定

▲密陽水利組合　資本金二萬圓

▲沃溝水利組合　資本金九千圓

以上は朝鮮全道に於ける水利組合の現況なるが猶其他に於て一二設計中のものあり又堤堰の復舊工事は目下頻りに計畫中にて農商工部は來年度豫算に一萬四千圓の補助金を計上し居れるが其場所は全北二十四全南八慶南十三慶北十忠南十忠北五にて合計七十ヶ所あり此の工費約三十萬圓なりと云ふ

懸賞論文募集

半島鑛業振興策

募集規定

一　懸賞金壹百圓

右は當選論文發表と同時に當該論文寄稿者へ贈呈すべし。

一　文章は論文體言文一致体何れにても宜敷成べく平易簡明なるを可とす。

一　當選論文の決定は本社爲嘱鑛業關係諸大家の審判に因るものとす、而して當選論文の數は一篇とす。

一　應募締切期限は來る三月一日とす

一　當選論文の發表は來る三月十日の本紙上に於て爲すものとす。

一　當選論文の發表は寄稿者の御希望に因り本名匿名何れになすも妨げなし但し匿名を要せらるゝ方と雖本社に對しては住所氏名を明かに通じ置かるゝ事。

一　募入論文は當選外のものと雖應募者へ返還せざる事。

附記　本懸賞は實際的鑛業振興策を募集するものなれば文章の巧拙は敢て問はざるものとす

京城新報社

●東拓次回の移民募集　東拓會社第二回移民は既報の如く一月二十日より三月十五日迄に渡鮮移住する規定となり居るが今日迄に移住せしものは既に百餘戸に達し之等の移民は何れも農事の準備に從事し居れりといふ而して會社にては本年は次回の募集に就き之れが移民の勸誘を昨年よりは早め來る四月中旬には數名の社員を内地に派し勸誘に從事せしむる由なるが次回の募集發表は三月末頃なるべしといふ

●府尹郡守會議續開　京畿道廳にては十五日も午前九時より前日に引續き府尹郡守會議を召集し檜垣道長官の一同に對する注意事項あり又た別室

●民團居場問題其後　京城民團の居場經營問題は其の後當局より何等の回答に接せざるを以て峯尾助役は十五日午後京畿道長官を訪ひ督促するところありたりと

●最近の半島人口數　最近の調査に係る朝鮮全道に於ける內地人の戸數は五萬七千五百四十五戸人口十九萬三千六百七十五人內男十萬五千三百七十一人女八萬八千三百〇四人にして朝鮮人の戸數二百七十九萬二千百〇五戸人口一千三百五十三萬九千三百十八人內男七百十三萬二千五百七十二人女六百四十萬六千六百四十六人なるが更に外國人は戸數三千五百〇三戸人口一萬四千六百五十五人にして其の內米四百八十二人英百三十七人佛九十五人獨四十二人露十七人希五人伊二人諾八人白三人葡二人濠七人加二十一人土八人瑞一人丁一人西一人なりといふ

●軍司令官交迭　十公電　四日午後軍司令官に安東中將親補されたる旨其筋に公電達したり

●京城の土地賣買高　京城に於ける土地賣買高は一月中の累計二十四萬四百圓二十三錢にして之を內別すれば朝鮮人より內地人へ放買せるもの宅地五十二件三千三百二十五坪餘家屋五十件千二十一坪餘此賣買價格七萬四千七百四十九圓にして單價二十二圓五十錢に當り畑地六件二千八百九十五坪餘此賣買價格三千七百廿八圓五十八錢單價二十三圓五十錢なるが內地人より鮮人へ賣り放てるもの宅地四件六百六十一坪家屋四件百八十三坪餘にして此賣買價格一萬五千四百四十七圓六十錢單價二十三圓五十錢に當り尙內地人間に於ける賣買は宅地四十三件七千七百七十三坪餘家屋四十六件二千二百七十九坪餘にて此賣買價格十四萬六千六百四十三圓五錢單價十九圓に當り畑地二件一千九百十三坪餘賣買價格千圓單價五十三錢なり

●京城府內內地人所有地　京城民團管內に於ける四十五年一月現在の內地人所有地は宅地四千六百六十一筆四十九萬二千七百九十五坪餘評價五百八十五萬四千五百二十二圓四十四錢にして單價十一圓八十三錢前月に比し千九百六十二坪餘を增加し畑地は七百四十二筆六十六萬七千五百十九坪餘評價四十八萬三千八百七十一圓八十一錢單價七十二錢前月に比し二千七百三十坪を增加し其他山野池沼五筆六千三百四十坪餘價格一千九百二圓三錢なり

●松永師團長危篤　朝鮮駐劄第二師團長陸軍中將男爵松永正敏氏は十三日來不快にて靜養中なりしが十四日朝に至り腦溢血に變じ急に人事不省に陷り目下師團及軍々醫部員の治療を受け居るも何分老体の事とて生命覺束なく危篤に瀕せりと云ふ

●總督代理師團長見舞　松永第二師團長重患の報に接し寺內總督は河野武官を代理とし龍山官邸に十五日午前師團長を見舞はしめたり

●明石少將等の見舞　別項松永中將病に罹りたる爲め十四日朝來明石少將を始め在京武官の師團長邸を見舞ふ者多し

●侍從武官入京　西鮮地方軍隊慰問の途にある侍從武官奥村少佐は十五日午後開城着十六日同地軍隊慰問の上同地發瀛車にて再入京大觀亭に投せらるゝ筈

●京城商議の總會　既報流會となりたる京城日本人商業會議所總會は十五日午後七時より開會し「日鮮人間商取引改善」の件外數件に就て協議したりと

●仁川商議部長會議　仁川商業會議所にては十五日午後七時俱樂部樓上に於て商業部長工業部長理財部長運輸交通部長等相會し活動方法に就き協議せり

●京畿道の幼苗配付　京畿道廳にて今回床替用として京城水原の兩苗圃より幼苗を各府郡に配付する數量は櫟十四萬、赤松十一萬、アカシヤ十萬栗二十六萬其他合計百三十四萬の苗木を配付する筈なるが之れが植栽を希望するものは願書を直接各府郡に提出すべしとの事なり而して植付方法は昨年十一月京畿道より各府郡に通知したる紀念植樹の使用法及注意書の第二に基くべしと云ふ

●舊歲末の鮮人商況に就て　……鮮人側銀行業者の談……

市內鮮人間の昨今舊年末前に於ける商況が地方金融の逼迫と物價の騰貴とにより前年末の夫れに比し不振なりとの噂あるに對し鮮人側二三銀行業者の語るところを聞くに昨今鮮人間商況が概して穩かなるは事實なれど不振と迄には到り居らず而も其の原因は市內鮮人の重立てる者は漸く時勢の推移と共に新曆に於て其の決濟を行ひ迎年の禮をなす者昨年來極めて多く從つて前年の如く昨今に至り歲末年始用贈答品を要することも尠しからず自然幾分商況の活潑を殺ぐ氣味あり又た例年舊歲末を以て行はれたる支那人に對する延取引も今年は動亂の爲め既に昨年十一月前後に於て其の決濟を了りたれば此等も多少鮮人年末商況に影響するところあらんか而して地方金融逼迫云々に至りては各銀行の貸出金預金等の狀態に顧るも毫も其の影を認め得ざるのみならず却て益々潤澤なるが如しと云ふ

●十二月中の京城狂犬數　京城に於ける十二月中の狂犬數は凡べて九件なるが何れも狂水病に非ずと云ふ

●全道の野犬撲殺數　十二月中に於ける朝鮮全道野犬撲殺數千八百四十七也

●羅島の農作物狀況　羅島に於ける麥作は本年に入り氣候溫暖なりし爲め根株腐爛し麥芽枯死し種子腐敗せるもの多く從て當年の麥作は殆んど絕望なりとて該地農民は大に憂慮しつゝありと

●開城普通學校生徒の貯金　開城普通學校に於ては去十一日生徒父兄有志者等參集紀元節祝賀式を擧行後生徒一同紀念貯金をなすことを決せり

●半島鑛業振興上の意見（其九）

△久能農銀支配人談　朝鮮の富力を增加する上に於て其の捷徑たるは鑛業の振興なることは識者の等しく認むるところで鑛業振興策論案募集は頗る時宜に適した企てと稱せざるを得ない朝鮮現下の鑛産物は金、鐵、銅、黒鉛、雲母、石綿、寶石、銀等で其の鑛脈は勿論地方に依り貧弱の差こそあるが半島全土殆ど各種鑛脈の分布を見ざるなく且つ朝鮮は某博士の說に從へば其の地勢上必ずダイヤモンドの存在を豫期し得るとのことであるに於ては朝鮮鑛業界の前途や益々多望なりと稱すべきである扨て朝鮮と限らず內地に於ても鑛業に就いては鑛區發見者に特別の保護を與へる即ち鑛區の採掘には先願權を認め先願者に採掘權を與へると云ふ制度が行はれて居る而して其の先願權を認むる理由とするところは人口が增加するに從つて地面上の事業は其の發達に限度があつて人口の增加と共に勢ひ何物かに對つて新事業の發見を試みなければならぬ即ち茲に於てか地下に埋沒する鑛物を發見するの必要があるので之れが發見者に對しては特に先願權を認めて優遇するのだとのことで斯くすれば何等の資產を有せざる者と雖も鑛區さへ發見すれば直に採掘權を得らるゝ譯で一方からいへば又た小資本の事業家保護ともなり彼等に活路を與へると云ふことにもなるのだとのことであるが併し朝鮮に於ける適當鑛業上の先願權なるものは果して機宜に適したものであらうか蓋し鑛山事業の過程は之れを各國の時例に徵して明かなるが如く第一發見時代第二權利時代第三採掘時代の三階段を經るべきものであるが朝鮮は之れを其の經濟狀態に照合すると未だ發見權利の二時代に遠慮し第三期の採掘時代に達し居らざるものゝ如くである然るに朝鮮に於て徒らに先願權を固守し [illegible] は其の採掘に堪ね得るの [illegible] やも詮議せずして直に採 [illegible] ると云ふは大に朝鮮鑛業 [illegible] するもので時に或は永遠 [illegible] たるのみで毫も採掘に從 [illegible] 鑛區の頻出を來さぬとも [illegible] く此際母國資本家等の鑛 [illegible] するに於ては先願の有無 [illegible] 採掘を許可するの方針に [illegible] の階段に出でたが鑛業發 [illegible] ぬ効果があるであらう然 [illegible] 金鑛が米國人に依り經營 [illegible] くは昌城金鑛が佛國人に [illegible] らるゝと云ふが如き結果 [illegible] となきか之れを要するに [illegible] 其の經濟上より見て出願 [illegible] 査し少くとも發見者直に [illegible] るの資力ある人にのみ採 [illegible] るの方針に出でた方が好 [illegible] る而も彼の資力豊かなる [illegible] 先願權を有する者より其 [illegible] すれば何等の障害を見ざ [illegible] ふる際に至りては如何に [illegible] るものが權利の賣識り等 [illegible] 業の發達を妨げつゝある [illegible] 息を知悉せざるものゝ言 [illegible]

●井上帝大教授の入京　[illegible] 教授工學博士子爵井上匡四 [illegible] 視察の途次十四日入京村田 [illegible] 宿したるが十五日夜北行 [illegible] すべしといふ

公人私人

▲田中近義（辯護士）十四 [illegible]

▲米倉清族（撫順炭坑長）同 [illegible]

▲吉川岩喜（平壤鑛業所課長）同 [illegible]

▲市原晴雄（大阪商船鎭南浦支店）[illegible]
同不知火

▲天野恭太郎（外務省官吏）同 [illegible]

▲京城手形交換高

二月十五日　金額　一四三、八八四、二〇〇 [illegible]

▲茶袋▼

此頃の東拓 [illegible] に對し、吉原同社副總裁は [illegible] 鬼となつて辨明に努めて [illegible] 東拓の無能は種々と事實に [illegible] 助金の如きも議會で警告を [illegible] らぬ條件が付いて、ヤツと [illegible] である、今日となつて、ま [illegible] 蹴をしたとてモウ駄目だ [illegible] されては會社が立ち行かぬ [illegible] を並べてをる一面には、 [illegible] 事、而かも何萬といふ大 [illegible] 重役の社宅を作るとは、 [illegible] の合はぬ事をするのであ [illegible] 主がた人善だからとて、 [illegible] 發揮することには努めな [illegible] の爲ばかり考へてをつてよ [illegible] 吉原副總裁の新聞紙利用の [illegible] 人は、先づ眉毛に唾をつけ [illegible] よい。

●宗匠訪問錄(九) 裁縫 島田種亮君

赤門通を下つた右側精華亭の入口を五六間這入つた處に專門高等和服裁縫所と大書して左下に小さく速成教授正縫會といふ看板が出てゐる案内をこふと裁縫の手を休めて此方へと頗る懇懃な挨拶振り五十路の坂を二ツ三ツ超ねたらしい年配の人で徐ろに語る。

裁縫は婦人の天職でありまして是れを一通り知らない者は殆んど主婦としての資格が無いと云ふても差間へはありません然し女學校出身の才媛とか何とか謂はれる方の中で滿足に針持つ術を知らぬ人が多いことは甚だ悲しむべきことであります、ソレで裁縫教授にも**學校的教授と速成教授**との二つがありまして前者は先づ雜巾とか單衣の一つ身といふ順序で初歩から習うので後者は一通りの心得ある令孃とか奥樣とか家庭の主婦としての必要上學ぶのであります私の處の教授は後者に屬して居りまして相當の心得ある人達が袷、被布、帶、重ね物と手當り次第に御持ちになる物に就て教へますので宅に在つては如何に手を付けて宜いか分らぬ物でも私が目を通して居りますると什麼やら縫ひあげることが出來ます勿論一通りは心得のある方ですよツマリ不分明の點を教へるのですから極めて短時日に大抵の至難しいものでも會得することができるのです是れは弟子以外の人と雖も望みに依りては口傳して上げたい所存です

男と女の裁縫の比較ですかソレは男は裁縫を專門にやつてゐるのですし女は主婦として誰れでも遣らねばならぬのですから一概に優劣を云ふことは出來ません女でも專門にやつてゐる方には立派なのがあります夫れは『ヘラ』の付け方縫ひ方は師匠に依つて違ふ樣ですが針の持ち方は普通の運びと向ふ針と云ふのが異なつてゐるばかりと思ひます私ですか山口縣柳井町柳井津の產で先代から裁縫を業としてゐましたので幼少の時から習ひました其後東京にも出たり自分でも研究も積んだりして今日に至つたのでありますが京城に來ましたのは四十三年の七月でした、

仕立賃は內地に較べて東京邊とは大差もありませんが地方に比べますると可なり高いのですが是れは生活の程度が違ふのですから止を得ないこと、思ひます通常私共では袴が一圓二三十錢羽織も同樣袷が一枚一圓御召の二枚重ねが二圓五六十錢縮緬の重ね物が三圓比翼になりますと一枚が二圓五十錢以上頂戴いたしますソレに裾模樣などは模樣をキツチリ合せなければならぬので裁ち『ヘラ』縫ひ共に一層綿密なる注意を要しますので勢ひ餘分に頂かねばなりません隨分世間には立派な看板を掲げて**高い賃銀**を取りながら**大抵の物は弟子委**せにして居る人も少なくありません私なども來た當時は仕事が多過ぎますので近所の方で五六人內職として御手傳ひを願ひましたが縫ひ直しをしなければならぬ物があつたり可なり上手に行つたと思つてもヤハリ玄人の眼から觀ますればソツが多いものですから遂に一切廢めて了ひました只困ることには衣服の形さい整いば縫ひなんかは怎麼でも宜いと思ふ人、否、眞に裁縫の技倆を見て下さる方が尠ないのを遺憾に思ふ次第です云々

●元天眞樓仲居 れきわの落膽 ▽爲ると成すと越禪

昨年の春頃まで仁川本町四丁目に極御安直の料理屋で喜樂と云ふのがありしは知る人ぞ知る所なるが此の家の主人は元海岸邊の〇〇旅館の板場で働いて居る內同じ旅館の女中れ何と乙な交情に成り目出度くも願ひ叶ふて夫婦となり新世帶を持ちたる馴染の誰彼の御贔負にて料理屋を出して夫婦一生懸命に稼いで居る內御亭は多情の男とて又もや〇〇旅館の女中れきわにチヨツカイを出し女房の目を忍んでは媾曳を重ねて乙な首尾を繼續して居たので何日しか女房が發見して角を出しスツた揉んだの大騷動が持上り瞬く間に店を抹潰して仕舞ひ四方八方からの債鬼に攻められ遂う〜夫婦は夜逃をして仕舞たのできわも一寸世間体も面白くないと云ふので早速〇〇旅館より暇を取り京城は南山町天眞樓の女中に住込み最初は實直に稼で居たが又もやソロ〜情夫が欲しくなり御客の誰彼を物色して盛に秋波を送つて居る內に六十餘りの有髭紳士が旅の徒々假寢の夢の淋しさに一夜たきわと妙な首尾を極めたのでたきわは吾が事成れりと大喜び殊にたきわが人を魅するは一種の特質を有するので此の老爺忽ち海鼠の如くなり或日の事仁川見物にと二人手に手を取て下仁し大旅館にも前記〇〇旅館に夫婦氣取りで宿り込み大酒落に酒落て居た內に此の老爺間もなく東の空へ旅立せねばならぬ事となり手を切て以來はオルガンの師匠だと云ふ杉野某と關係を結びたり程なく杉野の妻が死亡したのできわは今度こそは後釜に這入られると一人喜び勇んで居たが杉野は或事情の爲め聞の途切を極込んだのできわは愁傷落膽の余り南山町邊の或る床屋の職人と關係をつけ天眞樓を暇取り去五日丸髷姿で二人連立下仁して宮町尙美軒に宿込み居るとはさても御樂しみ

●三越の雛樣 ▽二十日から陳列會

三越吳服店京城出張所にては例年の如く來る二十日より同店休憩室內に雛人形陳列會を開催する由なるが昨年來本店に於て古代雛の模作品を發賣せしより一般に古代雛の復活を見るに至れり而して其の中最も賣れ行き良好なるは子寶雛、豆雛、桼の花雛、木彫大內御部屋雛、木彫有職雛、木彫光琳雛、木彫親王雛、木彫天平雛、木彫大內雛等にて皆各或る時代趣味を物語れるものにして雛に對する觀念が單に儀式としてのみならず美術品として珍重するに至れり殊に本年は斯道の名家が丹精になる幅物、式紙、短冊、小屏風等をも陳列するとのことなれば開會の曉きには宛然美術展覽會を見るの觀あるべし

●蟻生氏の迷惑 大村百藏氏が借債未償の爲め累を受けたる蟻生氏よりの『陳は小生事人を推薦すると加判をする事を平生大禁物と致し置きたるに昨秋大村氏の來談あり友情默止し難く加判したるに今日の始末と相成り候のみならず貴紙上を煩はし遺憾此事に候然るに小生は京城辯護士にあらず從て京城辯護士云々の肩書は當地辯護士諸君の信用に累を及ぼすの嫌あり不相濟候に付き此段貴紙御白も有之候はゞ御掲載被下度願上候』と申越されたり右訂正す

●強盜主犯者逮捕 去る明治四十三年四月七日京城東部杮橋某鮮人旅宿に於て京畿道南陽郡糸林寺僧侶金千悟外二名宿泊なし居りしを監禁し金三圓六十錢餘を強奪したる共犯者金聲振(三〇)は即時逮捕されしも主犯者は逃走中なりしが漸く二月九日に至り京城南部苧洞六七統二十一戸金俊泰方同居無職李東儀事李正儀(三七)なること判明し東大門分署の手に依りて逮捕され尙詐欺の餘罪も發覺し強盜詐欺取財犯として檢事局へ送らる

●行掛けの駄賃 京畿道富平郡石川面酉谷里十統一戸廉敬直方廉寶山(三七)は去四十二年十一月三十日強盜犯にて京城地方裁判所に於て懲役五年に處せられ服役中昨年七月十四日病氣の爲め刑の執行停止となり前記方にて療養中昨今稍々快方に向ひたるより又々服役せざる可らざるを知るや行掛けの駄賃と主人の金七十三圓七十錢を拐帶逃走し仁川府牛角洞三十一統九戸貝茂京方に潜伏し居たるを成田巡査宋巡査補と共に發見取押本署に引致取調中

●龍山の二人強盜 十四日午前二時頃龍山砂村里二十統八戸農柳順積方へ二人の賊忍び入り同家の柳成玉が妻張女と臥し居りたるを呼び起し脅迫の上衣類雜品數十點を強奪して逃走したりとの急報により龍山署より松永警部竹村部長現場へ出張臨檢目下犯人嚴探中也

●病犬人を咬む 十四日午後三時頃西小門內二統二戸趙德秀長男趙均龍(六つ)が戶外に遊び居たる中太平町二丁目盛文堂事萩森寅平方の飼犬に足部を咬まれ最寄りの派出所に訴へ出でたれば即刻後藤獸醫の檢診を求めたるに狂水病には非ざるも尙繫留病症を檢診中

●醉て撲て捕まる 中部水門洞九十三統二戸無職文元實(三五)外三名は十四日早朝中部中麻洞三十六統十戸金聖元方に於て飮酒し人力車輓子朴慶道、同李元植兩名と口論し兩名の面部を毆打し引致さる

●木の根を掘つて 楊州郡芦原面芦原統三戸農業崔漢石(三〇)外四名は同郡芦圓附近の國有林より根木を竊取し京城方面へ賣却に來る途中取押へられ森林令違犯として檢事局へ送らる

●出來心なるべし 南部樂善坊洞統戸不詳漢城衛生會人夫鄭昌根(三七)は十四日午後二時半頃壽町二丁目村上正七郎方の際芥浚ひに行き外に干しありたる座蒲團一枚を竊取したるを家人に認められ其筋に引き渡さる

●ボヤ 十五日午前六時四十分南部苧芝坊葛月里林塘洞朴興男方より發火せしが附近の人々駆け集まりて揉み消したれば大事に至らず鎮火したり原因は過失なりと

藝妓の一萬圓處分法

きく家の泰之助

柳梅さんの許にお稽古に來たのを幸ひ引つ捕ねて一萬圓を進呈ると謂へば藝者に似合ぬ地味な顔に淋しい笑をみせて馬鹿に遠慮して居たが目を瞑つてアレかコレかと考へ拔いた處で怎麼蟲の好いことを仰云る

私 一萬圓の金が手に這入つたらね……と暫らく間を置いて後に山を背負つて前に海の眺められる閑靜な土地……ア仁川みたいな處ですよ其處に坪十圓位の土地を二千圓程買ひ取りますそして三千圓で氣の利いた家を建てますの建坪ですつて三四十坪もあれば澤山よ殘餘の五千圓は朝鮮銀行に預けまして好きな時にチヨイ〜出して費ひます費ひ途ですか草花でも植ゑたり雞でも飼つたりする傍ら舞や鳴物の立派な師匠を招いで若い藝者衆にミッシリお稽古させたいのソレに眞實に困つてる方病氣か何かでね—那麼な人を少しでも慰めて上げる方法を講じたいのよ……獨身でかつてマア……世間樣がトックに御承知よ下女の一人も置いてサあとは同棲になるのに極つて居ますわ、けれどもね勤めの都合もありますでしようからと云つて一週に一度の逢瀬では何だか物足りないし、エー自烈体ホントニ浮世は儘ならぬものね……と莫迦に鬱ぎ込んで了つた

●演藝だより

▲浪花館 圓若一行の落語音曲手踊り

▲歌舞伎座 十六日より引續き出演する狂言は前『水戸黄門巡遊記』切義士銘々傳の內『速水藤右衛門』なりと

◎花柳界だより

▲藝者のかたいのと賣藥の效能書位いあてにならぬは無いとか、男ぎらいで名を賣つた井門の鶴吉が近來の活動振り彼れでは男ぎらいも何んだかあてになつたものに無之鶴吉に限つて客は取りませんん不見轉はしませんなんか馬鹿に肩を持つて居た本町邊の誰れかの顔がウフッ……眼の前に見ゐるよふに御座候▲花月の勝次拍子は誰れ彼れの差別なく人の顔さゑ見れば妾した茶をひくのより彼の人にたこられるのが余ッ程辛いわ、なかと情人のたゑけばかり申居り候▲京城の藝者に客を取らない妓なんと云ふのは妾しより外今のところ一人もありませんとは花月の若一組さんの御言葉に候へ共左樣申される御本人さてゑふだかアルツがオブツに御座候聞けば若い妓の中には一夜に二三人も廻しを取るのさゑ有之候由道理で高田家靜陽軒などが繁昌する譯けに御座候花柳病の醫者が繁昌する譯けに御座候▲大和町邊の某金筋殿去る日初音に清華の政菊を召され首尾よく情意投合の結果ぬたくつて曰く『京城に過たるは朝鮮銀行と初音の料理「藝者政菊」』呑早飛んだところで蜀山人を氣取られしものに御座候▲松葉の江戸ッ子時松姐さん申すらく新聞紙の花柳だよりを讀んで知りもしない癖に知つた顔をして彼の妓の情人が誰れだの此の妓の客がどうのと馬鹿に花柳通がる客程氣障なものは無いと全くに御座候御言葉の通りに御座候黒法師も同感に御座候アイ〜だ(黒法師)

平民文庫

▲永登浦警察の巡査某は官職を印刷した名刺に子供の名を列記して無錢で興行物を見せる云々の投書あり不心得の事なり妻子が可愛ければ斯る行爲は愼むべし本名は預る(係)▲統營邦警察巡査捕廉弼來と云ふ者本月八日の夕刻同港西面泉洞と云ふ處に住む一人の日本人を數百の鮮人と共に同所に於て引摺廻して居た事の善惡は兎に角不都合極まる昨年の秋杯も同署の鮮人巡査拔劍して日本人を斬りたる事あり地方に入ると巡査補の跋扈は烈しきものなり(旅行生)▲本町一青年君投書して試玉わ(係)▲或る所の或る人辻久代と云ふ女を永樂町三丁目の下宿屋に圍ふて居た所が不義をしたとかで大悶着其結果大枚一圓二十錢の小使で國元へ追返したと人には云つて居るが其實正反對矢張未練がある者と見へて他所に匿して居るから可笑しい夫れ程可愛妾なら與黒の女房を十八番の奥の手で追出して跡に入れたら良いぢやないか(上野)▲夫れまでは餘計な世話と申すものなり(小僧)▲某と云ふ巡査が獨立門通りの田中イチと云ふ女と醜關係を結んで云々の投書は沒(係)▲神經過敏の人が多い事だ總督と云ひ巡査と云つた所で普通の人間である小便もすれば糞も垂れる病氣になれば心配もする馬關に行けば河豚も食うサ獨身者が獨身者と關係するのが何が不思議だ今に教育が普及すれば學士の泥棒も出て來るよ其時に成つて眼を眩すな(小僧)▲仁川歌舞伎座では金とか云ふ賭博常習の無頼漢の併も其筋の注意人物を雇つて中錢の取立に使用して居るそして温和しい客さ見ると迷惑を掛ける何故アンナ者を雇ひ置くのだらうマサカ座主の白銅一件の仲間ではあるまい觀客の爲めに解雇しては如何です(迷惑の一人)▲信州上田の小學校長が仁川女學校長兼商業學校長とは仁川は馬鹿にされて居る(一父兄)▲何故ですか貴君の論鋒で行くと陸軍大佐が少將にはなれぬ道理で小供も大きく成れぬ譯だ獨身者が女房は持てぬ事になるのだ、若し仁川が馬鹿にされるとならば貴君の樣に譯も判らず憤慨する人があるからだ(小僧)▲南山榮する病院は必ず車夫が長く續く南山町上のゑ病院や壽町のた病院を見ても知れる(實驗者)▲大和町附近の役所に防寒外套を被て出勤する堀江〇〇〇金ヵ圓の行衞は何うか自任自稱の會計主任(憤慨生)

たんをさりせきをしづめぜんそくを根治す

龍角散

氣候激變の爲め引風より、たんせきを起す人多し、輕症なりとて放任すれば肺炎、肋膜炎等に變症し終に重症となるものなれば輕易のうちに治療こそ肝要であります。龍角散は服用後、暫時にしてたんは能く切れせきは奇妙に止る、いき切は鎭まる、其他數年困難したる慢性症も怠らず服用すれば氣分は何となく爽快となり病悩は日々に輕減し終に根治す、此れ全く本劑が他藥に卓越する特色であります。

龍角散が如斯く痰せき喘息に偉大なる効顯あるは、偏に某醫官が多年刻苦御經驗の賜ものなれば、あの藥この藥と御迷なく一日も早く本劑を服用ありて其病苦を根治し給へ

登錄商標

主治効能

- ◎たんにて常にゴホンゴホンと惱むによろし
- ◎ぜんそくにてゼイゼイいき切するによろし
- ◎夜中せき頻に出でヲチヲチ眠り兼るによろし
- ◎流行感冒より起るたんせきによろし
- ◎肺病にて常に力なきせき出るによろし
- ◎たん臭氣を帶び時々血の交るによろし
- ◎小兒百日せき又はしかせきによろし
- ◎音聲のかれ咽喉の痛み總て呼吸器疾患のたんせきはいかなる惡性も一二週間續いて服用すれば其効力は速かに顯はる

一日分金十錢（郵税二錢）　四日分金三十錢（郵税二錢）　一週間分金五十錢（送料二錢）　三週間分金一圓（料四錢）　一ヶ月分金一圓（料四錢）

取次…全國各藥店にあり

本舗藥劑師　東京市神田區豊島町　藤井得三郎　振替東京九一番

特約店　京城南大門通三丁目　新井藥房



朝鮮名産

人蔘漬

人蔘漬　人蔘蜜漬　人蔘飴

補血强壮無比の珍菓

製造元　海市商會

本店　京城本町三丁目（電話二五〇番）
第一支店　同本町一丁目（電話一三五四番）
第二支店　同本町五丁目（電話三二二番）
大邱支店　大邱元町一丁目（電話三〇番）
木浦支店　木浦銀座通
工場　京城水樂町一丁目（電話一九〇二番）

（振替口座京城四八番）

絶對也

英國製自轉車

コンマンダー號

理想良輪



コンマンダー號ハ價格ノ低廉ニ於テ絶對也
コンマンダー號ハ機械ノ堅牢ニ於テ絶對也
コンマンダー號ハ廻轉ノ輕快ニ於テ絶對也
コンマンダー號ハ装置ノ巧緻ニ於テ絶對也
以上ノ絶對的理由ヲ以テ鮮商會ハ諸君ニ同車ヲ推薦スル事絶對也

京城本町二丁目
織居商店自轉車部
（電話四〇八番）

◎祝　本邦初輸入の獵銃は關税改正と狩獵税低減

（東京日本銃砲店新輸入）

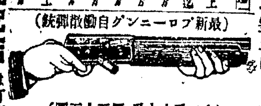


特別一割引乃至二割引の大廉價販賣

（自八番至四〇番）
英國製二連獵銃　價三十五圓以上
同無鶏頭新式　價八十八圓以上
同エゼクター式　價百六十五圓
同撃鐵付八番二連　價百十二圓
同ケリナ二連銃　價二百五十圓
同エジクター式　價八百五十圓
佛國無鶏頭新式　價百三十圓以上
獨逸製二連獵銃　價三十八圓以上
同三連銃
但實彈散彈兼用



（八番ヨリ四十番迄）
米國製單身獵銃　價十八圓以上
同無鶏頭單身銃　價二十八圓
同小鳥射小銃　價二十三圓
同獸獵射撃銃　價四十五圓
同獵射射撃銃　價四十圓
同護身用小銃
英國製五連發銃　價十二圓
大人用空氣銃　價三十圓
元込銃　價八圓以上
少年用空氣銃　價二圓五十錢



（最新ブローニング自働散彈銃）
（二十番十六番價百五十圓）
米國ウインチエスター自働六連實彈銃七十圓
レミントン自働六連猛獸射實彈銃百圓
英國最上黑色火藥アンペライト火藥新着
（獵用カイゼル帽及新式獵具類全備）

販賣　營業案内上下二冊無料郵呈　獵友雜誌毎月發行見本二十錢



保熱廿餘時間擬瓦斯法價三円八十錢以上

（護身用新形拳銃價四圓ゟ種々　新式自働拳銃價三十圓ゟ相揃）

東京日本橋區通三丁目　日本銃砲店

は町專心懇切を旨とし良品を廉價に販賣す（遠國注文代金引換小包にて販賣　無料送金は振替郵便二三三番）

懷中良藥仁丹



代理店　京城南大門通三丁目　新井藥房



醫學的最良の ライオン歯磨

高貴の香料　芳香馥郁　精選の原料　歯牙美白

配合の藥品　歯患を防ぐ　一世の信頼　本品に集る

本舗　東京 大阪 名古屋 上海 天津 漢口　小林富次郎

朝鮮代理店　京城南大門通三丁目　新井藥房
同　京城本町二丁目　金久商店

優等清酒



釀造販賣元
仁川港
吉金酒店
（電話七六四番）

新荷着

厚物 薄物 浪板 平板 鐵板 各種 各種 垣用線

和洋金物商
佐野彦藏商店
京城本町二丁目
電話一六三三番　振替口座京城一二〇番

電話　擔保貸金　月賦賣渡

明治町一丁目　電話一八四四

口入業　萬年社

株式會社第一銀行京城支店

資本金　壹千萬圓
積立金　六百參拾五萬圓
明治六年設立

京城南山町三丁目

銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候

電話一一二番・六二番　振替貯金口座京城二二番

政宗　正則　清正

釀造元

酒

小賣壹升に付三十五錢
卸賣は特別割引可仕候

清酒 味淋 焼酎
釀造元　京城壽町三丁目　中井酒造場販賣部
並に日用食料品雜貨類
電話百七十七番

電話にて御注文の際は一升以上は店員をして逐達致さすべく候

M.C.C.

土耳古巻紙　エムシーシー

專賣局定價は百本に付金九圓貳拾錢なるも朝鮮内は大安賣

京城、平壌龜屋……釜山、木浦、群山高瀨支店

齒科診療

野田齒科醫院　京城本町二丁目三越呉服店前
野田齒科醫院分院　仁川仲町三丁目末永呉服店隣

酒精アルコール

直輸入元　坂倉支店
仁川花町一丁目（電話六五〇番）（電略サ）振替口座京城五八二

京城本町三丁目　大坂野村德七代理店

田中友吉商店

現物賣買　迅速確實に御取扱可申候

兼業　既製洋服卸小賣　諸官衙御用達

（電話九九三）（發電略タ）

二月中　滊船出帆廣告

キ

三省丸　二月十七日前八時　濟州島行
天草丸　二月十七日後一時　濟州島行
成歡丸　二月十七日前二時　海州行
海利丸　二月十七日前八時　海州行
三省丸　二月十七日前八時　大靑島芝行

合資會社　秋田商會船舶部
仁川本町一丁目　電話七五〇番

荷客取扱所
仁川本町海岸通　秋田商會船舶部荷揚所　電話四一九番
仁川本町四丁目　柴田回漕店　電話五二二番
山本回漕店

本塲精撰



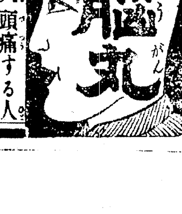
右銘茶各種新物續々入荷付に御小賣とも大勉強仕候間多少に不拘御用命願上候

仁川本町四丁目（府廳通）
田中芳春園
電話四五〇番　振替京城五〇二番

茲齋流割烹 すゞ津祢

南山町一丁目
電話千五百二番

腦病全治新藥



記憶力悪き人、頭痛する人、神經衰弱にて氣分鬱ぐ人、常に腦神經を勞する人の必用藥は獨り本劑のみ也

神經をしづめ腦病を全治す

島村醫學博士の有効證明を得たる健腦丸は、腦病神經病に奇効を奏し逆上を引下げ、便通を心能し、中風卒中を未發に防ぎ恐るべき腦充血を全治す

（價）一日分十錢、三日分廿錢、七日分四十五錢、二週分八十五錢、五週分金三圓

本舗　大阪心齋橋二丁目　丹平商會藥房
分店　大阪平野町　丹平商會分店
支店　東京日本橋室町北　丹平商會支店
▲賣捌は全國有名藥店に取次す

代理店　京城南大門通三丁目　新井藥房
電話九〇四番・一〇六八番　振替口座京城